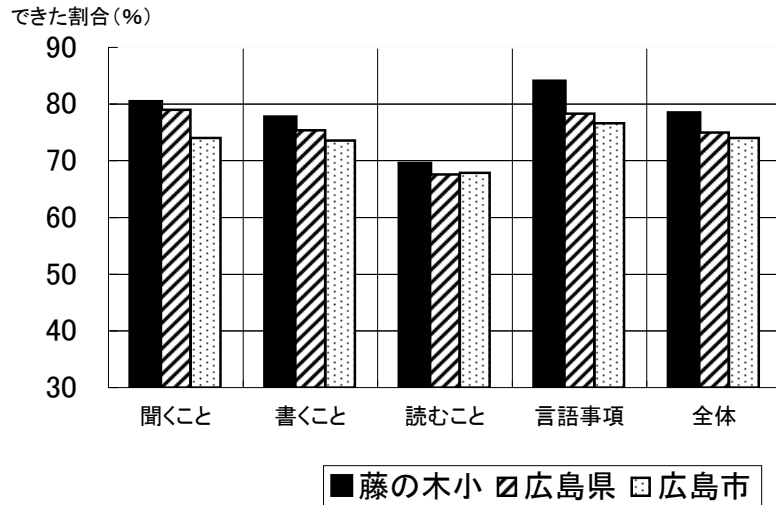


基礎・基本定着状況調査(5年生)結果

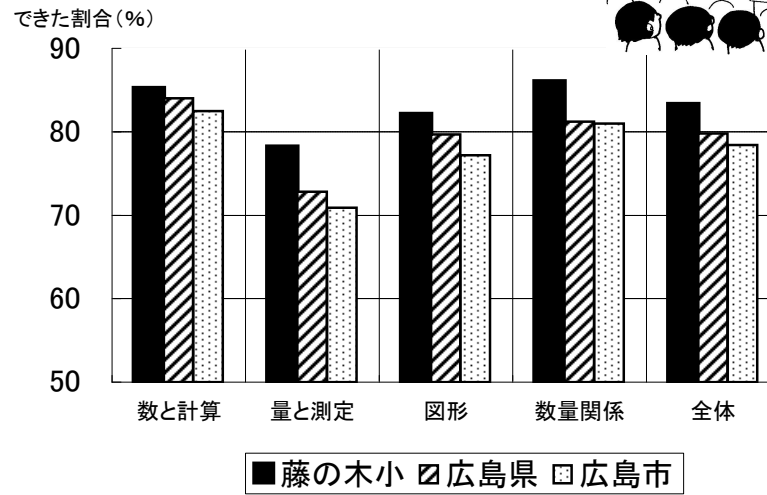
調査方法等

- 調査日時: 平成21年6月9日
- 調査対象学年: 第5学年
- 調査方法: テスト方式
- 調査教科: 国語・算数
- 出題範囲: 小学校1年生～4年生
- 分析・考察: 広島市立藤の木小学校

基礎・基本定着状況調査(国語)



基礎・基本定着状況調査(算数)



国語	できた割合%				
	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	全体
藤の木小	80.3	77.6	69.4	83.9	78.3
広島県	79.0	75.4	67.6	78.3	75.0
広島市	74.0	73.6	67.9	76.6	74.0

算数	できた割合%				
	数と計算	量と測定	図形	数量関係	全体
藤の木小	85.2	78.2	82.1	86.0	83.3
広島県	84.0	72.8	79.7	81.2	79.8
広島市	82.5	70.9	77.2	81.0	78.4

国語の調査結果をふまえて

国語全体では、広島県や広島市のできた割合を上回りました。「言語事項」については、繰り返し学習に重点をおいてきました。これからも、継続して指導していきます。主語と述語との関係については、主語や述語などについて話したり書いたりする活動を通し理解できるように指導した結果、定着率が高かったです。今後も主述の関係を意識させながら継続して指導していきます。「読むこと」については、文のつながりを考えながら読んでいるに読みとる指導に重点を置き、読みの指導を行ってまいりました。今後は、直接表現している叙述からだけでなく、前後の場面をつなぎ合わせて、いくつかの手がかりをもとに読み取る指導を継続したいと考えています。日常的に児童が本に親しめるように継続して努力していきたいと思っています。「書くこと」については県や市のできた割合を上回っていますが、内容のまとまりを考えて段落をつけて文章をよりわかりやすく書くことが難しいようでした。書く活動を多岐にわたって取り入れ、自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えて書かせたりしていきたいと考えています。「聞くこと」については、話のつながり等を聞き取るため、話の要点をメモに取りながら聞く習慣をつけていきたいと考えています。

算数の調査結果をふまえて

4つの領域ともできた割合が高く、全体としては良い結果でした。具体的な活動を多く取り入れた授業を継続し、繰り返し学習に重点を置いた成果とも考えられます。「図形」については、具体的な活動を通して図形の特徴や性質を理解させる指導を重ね、成果が見られるようになってまいりました。また、「量と測定」については、思考力・表現力を深める学習活動や具体的な操作活動を取り入れる等、生活経験と結びつけた思考ができるような指導の工夫で学習内容が定着するようにしていきたいと思っています。授業では、解答を求めただけでなく、自分の考えをことば・図・絵などで表現したり、考えを出し合ったりすることによって、みんなでわかり合い、深めあうことができるような学習の場にしていきたいと思っています。さらに、算数科でも、文をよく読み場面や条件等を読み取る読解力は大切です。問題文などから、必要な情報を読み取っていく指導を行ってまいります。

調査結果について

本年度の基礎基本定着状況調査を本校と広島県と広島市との比較をして、グラフと表にまとめました。教科別、領域別の定着傾向を見ると、国語ではどの領域も定着しつつありますが、国語の学習に関する意識調査では、「国語の授業はよく分かる」の児童は多いが、「国語の勉強が好き」な児童は比較的少ないので、いろいろな学習方法を取り入れ、興味をもって学習に参加できるようにしていきたいと思っています。算数は昨年「図形」の領域が低い結果を受けて、T・T指導や少人数指導などの指導法の工夫、操作や作業を取り入れた指導を行うなど指導の改善に取り組んできました。その結果、今年の「図形」はできた割合が8割を超える結果が出ています。また、「数と計算」「数量関係」でも、できた割合が8割を越え、よく努力していると思います。これらの領域と比べて「量と測定」は8割をやや下回る結果となりました。今回の調査結果を整理して指導方法等の改善の取り組みを検討していきたいと思っています。また、どの教科の学習でも、学校で学習したことを家庭でしっかり身につけるための学習は、とても大切です。ご協力をお願いします。

基礎・基本の重要性と本校の取り組み

基礎・基本(基礎学力)は、全ての学習の土台となるものです。小学校で学習する内容は全てが基礎学力とも言えますが、とりわけ、読み・書き・計算はその中心となるものです。今回の調査で定着が不十分な領域がはっきりとしたことで、より効果的な指導法の改善に取り組むことができます。今後、全学年で反復学習の継続や授業改善などに取り組むとともに、学習内容の確実な定着がはかれるようなきめ細かで、効果的な指導方法の研究を進めていきたいと思っています。全ての児童に「分かる喜び、できる喜び」がわくような指導をしていきたいと考えています。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。